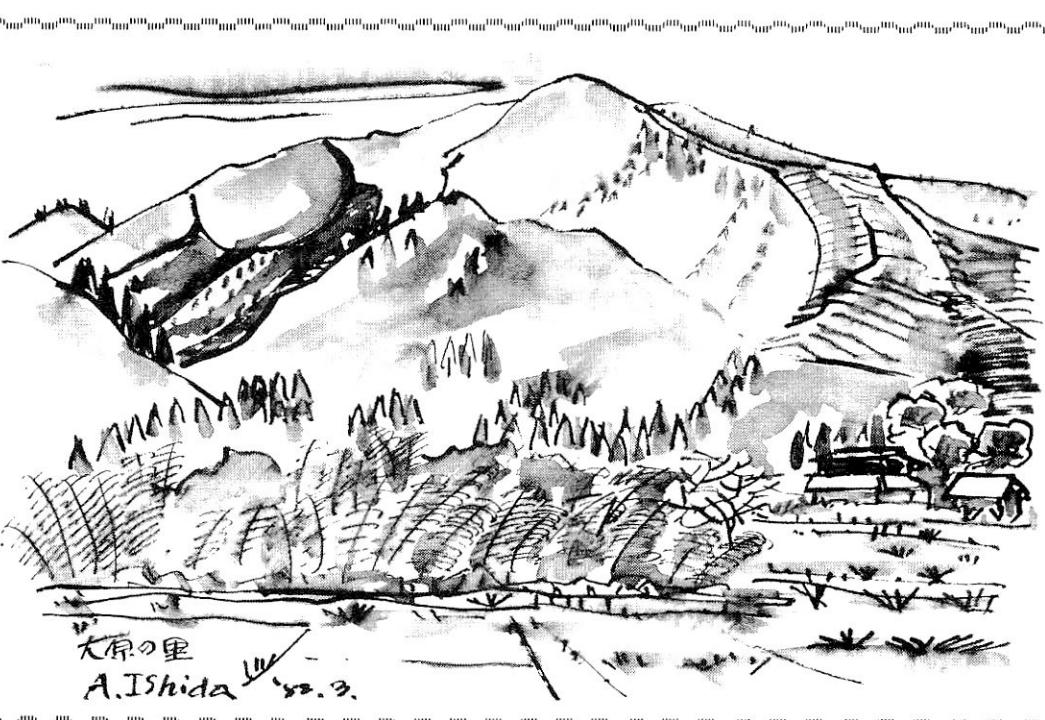




発行所  
燎原社

〒606 京都市左京区  
東竹屋町・川端入る  
部落問題研究所内  
電話 京都761-2141番  
振替口座京都 6-15762番

発行人  
木村 京太郎  
価額 1部 200円(税込)  
年 2,000円(税込)



大原の里

石田 昭子

勝利のために  
二条 静子

斗いは秒速の激突  
一刻の余裕もない  
力あるものは力を  
物あるものは力を  
勝利のために

われわれの群団は  
憲法の改悪をたくらみ  
軍事大国への道を策謀す  
この民衆の敵に  
限りない怒りを

野望の群団は  
憲法見高き憲法学者  
府民の活気と繁栄に  
執念燃やす信念の人  
この候補に 誇りと信頼を  
このたたかいで 勇気と情熱を  
勝利は われわれのもの

### 四月例会（予告）

第25回四月例会を次の通り開きます。

とき 四月十七日(土)午后一時半より。  
ところ 中京区竹屋町河原町通東入る

テーマ 京都市職員会館「かもがわ」。

ゲスト 八〇年代の内外状勢について。  
立命大教授 山口正之先生。

本号に寄稿の山口先生の論考を中心  
にして、御説明、参加会員の質疑応  
答。現在の時局認識を新たにしたい。

多数ご出席下さいに発言を乞う。  
参加費 1名500円（茶菓費共）

# 八〇年代の内外情勢の激動の法則 —先進国革新時代の開幕—

山口正之

同権、平等の民主的  
国際連帯への胎動

一九八〇年代に入つて世界ははやくも二年を経過して三年目に足を踏みいれた。今後十年間の変化の方向を予測する確実な手がかりになるような、いくつかの徵候がすでに鮮明になつてきているように私は思われる。

## 経済的政治的危機の開幕

### 国際的運動

アメリカでも西ヨーロッパでも、発達した資本主義諸国の経済危機は二年連続で深刻化してきている。イギリスの完全失業者はこの一年間で百万人増加して三百万人を越え、失業率は一二・七パーセントに達し、一九三〇年代の世界経済恐慌の水準のすぐそばまできている。西独やフランスの失業者は二百万人、失業率は八・八パーセントに及ぶ。世界資本主義の総本山レーガンのアメリカでは、「小さな政府」「自由な市場」で「民間の活力」を取り戻して「強いアメリカ」の再生をはかるというシナリオは、一年もたたないうちに、ほぼ完全に破綻した。失業率はもなく九・八パーセントを越え、完全失業者はここ一ヵ月のうちに千万人の大台に乗る可能性が濃厚になつてきている。インフレはいくらく沈静のきざしをみせているとはい、依然として一〇・八セント前後の高い水準に定着したままである。先進資本主義諸国の「金持ちクラブ」とよばれるOECD加盟諸国全体を通じて生活水準の持続的低落

が始まった。

そのなかで例外的に優秀な経済的パフォーマンスを実現している唯一の国だと自慢たらたらであった日本資本主義にも、あつという間に深いかけりがさしてきた。政府は、一九八一年会計年度の経済成長の当初の見通し五・

三パーセントを、昨年夏には四・七パーセントに、秋には四・一パーセント、そして冬には三・五パーセントと、異例の連続的な下方修正を行なってきた

が、実績は二・五パーセントにとどまることにならう。当然巨額の税収不足は避けがたく、「増税なき財政再建」も臨調行革も、崩壊は決定的になつたといつても、もうはやすぎはしない。「日本経済上出来論」はすでに雲散霧消して二度と還らない夢となつた。

先進資本主義諸国だけではない。ソ連、中国、東欧その他の「社会主义諸国」の経済危機もきわめて深刻になつてきている。石油産出国も含めて広大な第三世界全体の経済危機も深まる一方である。そして、この世界的な経済危機のなかから世界的な政治危機が急速に発展してきた。世界的な保守化の時代は、明らかに終焉の日を迎えていた。世界的な革新の時代の夜明けはまだ遠いとしても、確実に近づいてきている。耳あるものは、その足音をかすかにではあるがはつきりと聞きとるとができるであろう。

勢力圏の再分割をめぐる国際的闘争の激化の新段階を切り開きつつある。これは、もはや、戦前のよう帝国主義諸国相互のあいだでの再分割闘争、單に帝国主義的な闘争の次元にとどまるものではない。この国際的闘争の一方の主役は、ベトナム完全解放、アングル革命、イラン革命、ニカラグア革命、

ジンバブエの独立、そして、今、エルサルバドル革命として燃えあがつてきている反帝民族独立Ⅱ非同盟中立運動のたえず拡大する嵐のような発展である。さらにもう一つの主役は、大国主義的覇権主義的な支配への隸属を拒否して完全な民族自決権のもとで自主的な発展の道を確立しようとしたかつてゐる社会主義諸国内部での自己革新の闘争の進出である。そしてこれに、世界をゆるがす八〇年代の台風の目となつてきたヨーロッパ平和運動の史上空前の高まりが加わる。

ヨーロッパ平和運動は、あきらかに、非同盟中立・民族解放闘争と肩を並べて、米ソ超大国の支配を基軸として編成された古い国際秩序を変革して、皮膚の色や言語、文化、宗教などの区別を乗りこえ、諸民族の同権、平等な兄弟的連帯に支えられた新しい民主的国際秩序を創造する現実的力量を備えた有力な国際政治勢力に発展してきた。

しかも、この反核・軍縮・平和闘争のうねりは、いまや、レーガン帝國主義の牙城アメリカ合衆国の内部を襲撃している。福祉切り下ろの大軍拡・核新が世界の革新を完成するだろう。

### 先進国革新と日本前途

すべて以上のことは、八〇年代はもともと発達した資本主義諸国の中主義的社会主义の革新の時代となるだろうということを示している。かつてレーニンがいつたことがある。後進的なロシアで今すぐ社会主义をきずくことはできない、ロシア革命は世界社会主義革命の「序曲」であり、発達した資本主義諸国への道の「火蓋」を切る役割をはたすものである。いまや、レーニンの予見が現実のものになるとときがきた。十月革命によつて「火蓋」がきられ「序曲」がかなでられた革新的事業が、先進資本主義諸国の中勢力によつて受けつがれる時代が始まっている。

すべての徵候からみて、日本資本主義は、帝政ロシアがそうであったように、世界の反動の城砦として最後まで残るかもしれない。しかしここでも激動の風は吹きはじめている。日本の革新的の革新を完成するだろう。

# 原水爆禁止運動の統一と分裂(統)

## 平和・民主運動の統一の重要性

細 友 晋

(京都原水協理事長)

—前回に述べました日本の原水禁運動分裂の歴史的な経過、その実体は偶然発生したものではなく、それだけの内外の要因を持っていたものであることについて、これは表面に出たものよりも、むしろ重要な思われる所以、それについて述べたいと存じます—

右の原水禁運動と八・六の世界大会は、第三回までは順調にすんでいましたが、一九五八年第四回世界大会の翌五九年七月になると、自民党は原水協へ向けての府県の助成金を支出しないようにと指示を出しました。その主たる理由は、原水禁運動は国民的運動であるから政治に関係を持つべきではない、しかし原水協はその基本を軽視している、というのが理由でした。これは二十三年も前の話ですが、今でもこの理論を振廻しているグループが残っています。そこには基本的に原水爆禁止、被爆者救援、援護法の制定という目的と要求が、国の政治に率直に受けとめられる姿勢があれば、こういうことは起らなかつたでしょう。しかしそうではなかつた。既に五三年十月池田ロバートソン会談が行われていて、日本の軍事力の増強が約束されていた。政府は国民の平和の要求に反対する方向に動きはじめていた、それが主要な原因と言わねばなりません。又日本は核武装に反対するという主張が出てきました。これは当然の要求でありま

(5) ますが、これも政府の方針とは反対であった。これらの中の要因によって、自民党、民社党は原水禁運動から脱落することになりました。またその背後には、このような国民的規模の平和原水禁運動が統一して大きな力をを持つようになれば、自民党政権の基本政策をすすぐ上で、大きな障害になるであろう、今この間に抑えておく必要があると考えたであらうことは容易に予測されることです。こういうやり方は世界中の国で通用しているので、政府や自民党が平和、民主運動を分離させ、孤立させる方針が今も変わっているものではないことを確認しておくことが必要です。右翼からの攻撃がはじまつたのもこの頃のことですが、その時分には訳の分らぬ動きがありました。

(6) これにたいして原水協執行部は当時にたいして原水協執行部は当時にこれらの事実を確実に把握していくなかで、事実をあきらかにした上で態度を決定してもおそらくはないと主張したのですが、「いかなる国の核実験にも反対」するグループを説得するに至りませんでした。この対立が尾を引いて、翌年三月のビキニ集会において、翌年三月のビキニ集会において、執行部の総辞職にまで発展しました。この対立は三年の第九回世界大会に持ちこされ、この時には別の問題すなわち「部分核実験停止条約」(同年七月十五日調印、米英ソ三国参加、八月五日正式調印)について、ソ連代表から確認しておくことが必要です。右翼からの攻撃がはじまつたのもこの頃のことですが、その時分には訳の分らぬ動きがありました。

(7) これにたいして原水協執行部は当時にこれらの事実を確実に把握していくなかで、事実をあきらかにした上で態度を決定してもおそらくはないと主張したのですが、「いかなる国の核実験にも反対」するグループを説得するに至りませんでした。この対立が尾を引いて、翌年三月のビキニ集会において、執行部の総辞職にまで発展しました。この対立は三年の第九回世界大会に持ちこされ、この時には別の問題すなわち「部分核実験停止条約」(同年七月十五日調印、米英ソ三国参加、八月五日正式調印)について、ソ連代表から確認しておくことが必要です。右翼からの攻撃がはじまつたのもこの頃のことですが、その時分には訳の分らぬ動きがありました。

後戦に残った社会党、共産党、総評などは統一し團結して、一九六〇年の安保改定反対斗争を、国民大衆の力と結びつけて、戦後最大の運動に盛りあげました。これが日米両国政府に大きな危惧を与えたことは申すまでもありませんが、その対策として一九六

一年四月新たに米駐日大使エド温ライシヤワーが任命され、彼は着任すると同時に、労組幹部、学者、文化人にたいする分裂工作をはじめたのでした。そしてその年の第七回世界大会の国際会議では、基地反対斗争を原水禁運動と分離すべきだという主張が労組の代表から行われたのです。この分離は革新陣営内に起つたものでした。その影響するところをわめて深刻に至りました。

更に翌年の第八回世界大会では、「あらゆる国の核実験に反対」すべきだという主張が出来、これをめぐって意見が大きく対立しました。これは当時に起つたベルリンの危機の挑発にたいして、三年間休止されていた核実験をソ連が再開したことが直接の原因でした。

これにたいして原水協執行部は当時にこれらの事実を確実に把握していくなかで、事実をあきらかにした上で態度を決定してもおそらくはないと主張したのですが、「いかなる国の核実験にも反対」するグループを説得するに至りませんでした。この対立が尾を引いて、翌年三月のビキニ集会において、執行部の総辞職にまで発展しました。この対立は三年の第九回世界大会に持ちこされ、この時には別の問題すなわち「部分核実験停止条約」(同年七月十五日調印、米英ソ三国参加、八月五日正式調印)について、ソ連代表から確認しておくことが必要です。右翼からの攻撃がはじまつたのもこの頃のことですが、その時分には訳の分らぬ動きがありました。

国际代表団の分裂は翌年の第十回世界大会で、ソ連の代表が大阪で開かれた社会党、総評の集会にメッセージを行ない、それを原水協ほか中国代表(など)からきびしく追求され、うやむやのうちに退場することになつたのです。

一九六五年社会党、総評系は原水協に復帰することなく、別に原水禁国民党を発足させました。

また一九六七年第十三回世界大会では、中国系と言われる十五か国三〇名の海外代表がござつて国際会議から脱退しました。その理由は日本原水協がソ連系の世界民青連代表の大会参加を認めたことは、修正主義に堕落した結果であると言ふことでした。

ご承知の通り一九六六年頃から中国で文化大革命が引き起され、それと関連して日本でも中国一辺倒の支持者たちによつて、善隣会館その他暴力事件が起り、日中友好協会まで分裂させられるといった紛争が起つてゐる時で

した。それらが大国主義のエゴイズムによる横車であることはあきらかで、それが帝国主義者や植民主義者によつて行われたのではなく、革新的進歩勢力によつて行われたことを注目する必要があります。そしてそれは過ぎ去つた問題ではなく、今もいつそう奇烈化していることを確認しておく必要があると思います。

(8)

以上述べたことは主として分裂の起つた外的な要因です。分裂の謀略を排除することが大切ですが、そのためには統一をまもり発展させるため

轟川前知事は常に婦人の幸わせなときそれは平和なとき。平和なときそれは婦人の幸わせなとき。

と云われ、憲法をたて系に、府民のくらしを横糸としての府政に徹してこられました。また府政は、府民の要求を政治に生かしてこられました。

しかし今、婦人達は自民党ママ府政のなかで、おののいています。

防衛費の不気味な膨脹の影で行われている「行革」が突然急テンポで走りだして、福祉、教育の切捨てと、高物価、高負担という、三重苦が今府民に課せられようとしてきています。

子供を持つ家庭では、学校レベルの段階で、経済的な困難に直面しています。授業料値上げ、しかも三年連続で75%も上がり、全国最高水準なのです。

しかも私学助成金はけずられる状態のなかで、日本の現状のように「高等学校」のシステムのなかでは、人間としての不平等と、教育の矛盾を拡大することにもなりかねません。

特に大きな打撃を受けるのは老人層で、老後のたよりと思う国民年金は雀の涙、その上医者にかかるにも自己負担の増というわけで、一つの家族のなかにも反目や対立が起りかねないし、そうした暮しの中心にいる婦人たちは今、底冷えのする思いです。

京都では、府下一せい小学区ごとの婦人デー集会とし、「全世界から核兵器をなくそう」「婦人の力で憲法知事を」を合言葉に、二〇〇箇所を越える草の根集会がもたれ……

今年の選挙は、戦争か平和かの岐路であり、京都府民の産業、文化への進路と共に府民の生存の維持にかかりを持つ、重大な選挙であることが確認されました。そして今後も、府民を枯死させ、財界のみに水を送ろうとする林田府政の活力のごまかしをかしこみぬき、家族を老人を子供を守るために…… 平和を願う京都の婦人たちは今、立ちあがりつつあります。

星と陽は月はいつも輝く  
雪の下で草の根は地にはりつき  
木々はこらえた芽を風にそなえる

自然と人との吹きいだす季節  
産むものは苦しみのなかで炎となり  
熱い太陽に  
支えるものは新緑の芽とひらき  
広い大地に根を

人間の自ら生みだしたもの——  
古く新しい  
文化のあたたかみよ  
雲をつらぬき  
光の束となれ  
あまねく人々にふりそそげ

## 婦人の願いがとどく府政を

### 品角小文

宣 言 82  
加納たけし

した。内的には、主として分裂の起つた外的な要因です。分裂の謀略を排除することが大切ですが、そのためには統一をまもり発展させるためには

内的には、主として分裂の起つた外的な要因です。分裂の謀略を排除することが大切ですが、そのためには統一をまもり発展させるためには

内的には、主として分裂の起つた外的な要因です。分裂の謀略を排除することが大切ですが、そのためには統一をまもり発展させるためには

内的には、主として分裂の起つた外的な要因です。分裂の謀略を排除することが大切ですが、そのためには統一をまもり発展させるためには

内的には、主として分裂の起つた外的な要因です。分裂の謀略を排除することが大切ですが、そのためには統一をまもり発展させるためには

内的には、主として分裂の起つた外的な要因です。分裂の謀略を排除することが大切ですが、そのためには統一をまもり発展させるためには

内的には、主として分裂の起つた外的な要因です。分裂の謀略を排除することが大切ですが、そのためには統一をまもり発展させるためには

## 想い出(1) 「滝川教授事件」の頃

——これは、當時、何の組織にも關

題が色々と取り沙汰された。

三

百姓からとりあげ、それは二十町以上の耕地となりました。大地主は近村の部落から労働者を雇つて耕作をはじめました。村では大きさとなり、土地を取りあげられた百姓は、お互いに農地を分けあい一家の生活を支えました。

滝川教授が昭和七年一月中央大学で行つた講演「復活に現われたトルストイの刑罰思想」の中に「犯罪は國家に対する一種の制裁である。従つて国家がこれに刑罰を加えるのは間違いである」といったような内容があることが問題になつているんだとか、配属将校関係の予算が多過ぎると反対した事が軍部を刺激し、文部省に圧力がかかっているのだとかいう話が流れた。

いてはいたが、私はきく機会かなつた。宮本英雄教授は法學部長でもあつたのでその方で忙がしく休講になつたので、その方がわかつた。勿論、事態が進みにつれて、学生側からも動きがあつて、どこが、だれがイニシヤをとつたか知らないが、出身高校別代表者会議がたれ私は三高七年度クラスの総代をしていたので、一回生の代表の一人として参加した。

がその結果三十三戸の農家の二十七戸が被害者でした。農作は七、八反位で縮少され老人や一部の者の仕事となり続ける者は、男も女も京都や大阪の工場で働いて仕送りをし、一家を支えていくようになりました。

私の家でも同様で妹と私は京都で働くことになりました。しかし私につけでは青年の夢を与えてくれるきっかけとなりました。農家の長男として祖父が

年輪記  
(1)

(1)

北牧孝二

数年前に比べて、肥料代や経費、諸費が高くなり、百姓は年末に年貢代を支払えば自分の長い歳暮代を失う。

数年前に比べて、肥料代や経費、諸費が高くなり、百姓は年末に年貢代を支払えば自分の米も残らない状態でした。当時大阪府下に杉山元次郎氏等によって、農民の組合が生れたということをいちはやく知った私の伯父は、年末をひかえて年貢の二割減免を要求する相談を組織し、私の家を農民の集り場として、毎夜百姓の人々が集り、地主への要求をまとめて、大地主の代表の

した。私は京都市内のある弁護士の家で働き、立命館卒業後は弁護士を開業しました。農民や市民のために働くこと決意しました。

この時代は米の生産を中心に烟作作物も商品として農家の生活を支える商品生産時代でお金が農家を支配する資本主義支配にはいり、農家には生産しながらも矛盾が集中してきました。

への要求をまとめて、大塙主の仕表の

(八〇)

理として参加しました。参加した人達には、三井、土見二吉、長

(予告)

はいすれも地主から土地を借りて、農業を営んで生活している小作人でした。この小作人さんたちの要求は簡単に大地主からことわられ、その上この大地主は百姓に貸している自分の土地を、

第二六回「語る会」定例研究会は五月十五日(土)午後一時半から、京都職員会館“がもがわ”で、立命館大学の佐々木敏二先生から「故山本寅治氏をめぐって」のお話を頂く予定。

## 天皇制と民主主義

齐藤雷太郎

# 主義

## 齊藤雷太郎

それにしても、天皇制国家と云うものが、農民や労働者等の庶民にとつて、ありがたい国家ではなかつたのは、はつきり云え。とどまるることを知らない財界、政界の腐敗、横暴が、青年将校の蹶起をうながし、五一・五事件、二六事件となつて、政治のゆがみが表面にあらわれたのである。人間を大切にしない国家は、かならず、亡びることを、歴史は教えている。

本会結成以来約3ヶ年間お世話になつて、いた「社団法人 部落問題研究所」は、このたび、近衛町の「文化厚生会館」を、京都府と市に譲渡し、また現代の仮事務所「堀川分館」を売却した

訴え

部落問題研究所

新所屋建設に当つて

昭和の初め頃、ある会社がパラシュート降下の実験を東京代々木で行なつた。当日、都下の新聞社は、ニュースカマラを並べて、かたづきのんで待つた。飛行機は飛び上つた。上空へかかると、パラシュート実験者は、パッと、機から飛び下りた。……パラシュートは開かない。開かない。パラシュートはついに開かないで地上に落ちた。この生々しい不幸な出来事は、ニュースになつて京都でも上映された。

部落問題研究所常務理事として三〇年間、そして全国部落解放連合会（金解連）副委員長であった三木一平さんが、昨年三月六日亡くなつてから早くも一年たちました。

生前、敗戦直後から、部落問題だけでなく京都の労働運動や民主運動、および全国の人民解放運動の第一線で活動、献身された業績を讃え偲んで、三月一日午後六時から京都市左京区京大会館において「三木一平さんを偲ぶ会

故三木一平さんを偲ぶ会

三月一日於京大會館

つづいて各府県の活動家、研究者、行政担当の方がたから、三木さんが実践を通して得た豊富な経験、資料をもとに、適切な指導をうけた感銘をつぎつぎに発言され、さらに、京都ライトイハウスマの田村敬男氏、兵庫の多田留次氏、地元の田中出身で今も尚活動している埼玉県の長田秀子さんなどから、情感溢るる思い出が語られ、今さらながら故人の偉大さが偲ばれるのであった。午后八時、故人に対する追慕を秘めて会は閉じられた。

「人民解放の戦いに斃れたるものはずして死したるにあらず、恒に大衆の中に生きている」

先頃の夕張炭鉱の労災補償金は、まだ確定していないようだが、一般的の間では、年収四百万円位の人で、労災補償金は四千万円前後位が相場と云われている、事情によつて、それにプラスアルハーフ付くのが現状のようである。これはおどろくべき、大きな相違である。経済大国になつたと云う、現在の国内の変化が、勤労者の上にも多少の

研究所の馬原鉄男理事と、京解連の山本良人書記長の両氏が司会し、まつ藤谷俊雄研究所理事長、藤谷義兼京解連委員長から主催者としてのあいさつがあり、故人に對する黙禱のあと、引き

なお、二月二八日には水平社創立記念集会が京都会館第一ホールで開かれ、三月一日、二日の両日、京都教育文化センターで、全解連の年次大会がひらかれた。

に今いちどまだの方々に応分のご支援をお願いいたしたく存じます。  
御送金は、振替貯金口座、京都四一八八一七番、部落問題研究所所屋建設委員会、又は、「燎原社」(振替貯金口座京都六一五七六二番)宛。

## 目で見る 京都の民主運動史(2)

湯浅貞夫

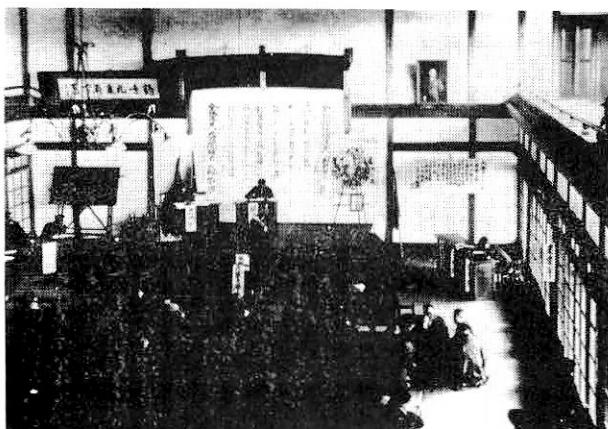
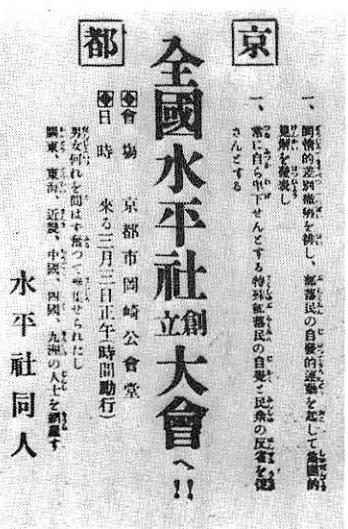
一九一四年～一八年の第一次世界大戦は全世界の政治、経済、思想、文化などに大きな変化をもたらした。ロシアにおいては社会主義国家が誕生し、アジア・アフリカ等で民族の自決、植民地の解放などが叫ばれ、幾多の新しい国家が成立した。日本国内においても、普選獲得、労働組合、農民組合、部落解放、朝鮮独立などの運動が起り、その他、思想、学問、文芸、文化の面でも、いわゆる「大正デモクラシー」の時代を出現した。

### 二、全国水平社の創立

一九二二年三月三日、京都市岡崎公会堂にて「京都市岡崎公会堂開幕式」が開催された。この会場は熱気にあふれていた。全国六千五百三百万といわれる被差別部落大衆が、永年にわたる差別と屈辱から脱し

て、自らの力で解放すべく、全国水平社創立大会をひらき、「全國に散在する特殊部落民よ団結せよ」「われらは人間性の原理に覺醒し、人類最高の完成に向つて突進する」と宣言。各地において差別糾弾の闘争が行なわれた。

全 年 四月 洛 北田中 において「京都市岡崎公会堂開幕式」が開かれた。



れ、ついで府下、山城、丹波、丹後の各地方で続々として水平社が結成され、受難と殉教を表わす黒地に赤いばらの荆冠旗が高く掲げられた。

以来六十一年、官憲の弾圧に抗し、府下の労働、農民組合等と共に労働農民党を結成し、差別の撤廃と、人民解放のために闘った。

(上)は、全国水平社創立大会参加をよびかけるビラ。

(中)は、第二回全国水平社大会の会場に統々と集まる各地水平社代表。

(下)は、一九二九年(昭和四年)府下天田、何鹿、加佐の三郡水平社の大会が綾部波多野記念館で開かれたときの会場内部で、不合理な差別に抗議し、部落住民の大同団結を訴えている。その側方に監査席が設けられ、弁士の発言に対し「注意」「中止」を命じて言論の自由を束縛する警官の姿が見られる。めずらしい写真である。

写真説明

燎原を読んで

京都  
泉君代

(前略) このたび思いがけず第一号からの“燎原”誌をお送りいただき、

よ  
り  
い  
つ  
も  
思  
つ  
て  
お  
り  
ま  
す。  
二  
人の  
娘  
も  
大き  
く  
な  
り  
私  
の  
背  
丈  
を  
超  
し  
ま  
い  
ま  
し  
た。  
両  
親  
が  
いた  
ら  
と  
思  
つ  
て  
お  
り  
ま  
す。  
深  
夜  
『  
燎  
原  
』  
を  
一  
頁  
づ  
開  
き、  
諸  
先  
生  
方  
の  
活  
動  
を  
知  
り、  
父  
の  
名  
の  
出  
て  
く  
る  
記  
事  
に  
は  
涙  
を  
流  
し  
て  
お  
り  
ま  
す。  
父  
が  
残  
し  
た  
も  
の  
や、  
話  
し  
て  
く  
れ  
た  
こ  
と  
と  
重  
な  
い  
記  
事  
も  
いく  
く  
所  
か  
あ  
り  
ま  
し  
た。  
父  
の  
手  
記  
か  
ら

——今回の検挙でも京都市だけで数百人の労働者、農民、学生を検挙し、数ヶ月に亘り各警察署のブタ箱で留置し、数名の特高警察官で新選組という移動拷問団を作った。殴る、蹴るの暴行はおろか細紐で道場の梁に吊り下げ竹刀で気絶するまで打ったり、又土瓶で鼻から水を入れ、咽び殺すなど、陰険な拷問までやつたではないか、彼らはこの時酒気を帯び、吾等は昭和の新撰組だとホザいていたではないか、彼奴等はそれでもあの明治維新的新撰組の如く、幕府の犬となり、歴史の歯車を逆に廻さんと空しき努力をなし、遂に潤落して行った行末を無意味に感じとついたとは笑止の沙汰である……（以下略）

事務局より  
頃又書

会費、誌代、年賀広告、カンパなど  
左記の方々から頂戴、有難うございました。  
した。(順不同、敬称略)

領収書に代えて

三、	四、	四、	三、	手塚
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	亮(岡山)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	君代(右京)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	秋田清二郎(上京)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	寿岳章子(向日)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	田中豊藏(南)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	野村利之(寝屋川)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	山口光一郎(西京)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	斎藤はるお(中京)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	松本一三(東京)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	京都第一法律事務所(中京)
○○○○円	○○○○円	○○○○円	○○○○円	清水隆一(三和)

ハタまだか　まだ届かぬかわが命  
短かければ多く読みたし  
印刷のインクしみいる指をもて  
紙面まさぐるベッドの父は  
こぶしもて口を塞ぎて号泣す  
父に会いたい、顔みたいと